

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回12月の「てがたん」は12月14日(土)で「声でさがす林の鳥」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは12月7日(土)です。よろしくお願いいたします。

11月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2013年11月9日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 22名 (一般15人、子ども7人)
- 市民スタッフ 8名 (岡廣志、木村稔、窪田憲史、小泉伸夫、須貝基康、古川克彌、水上香苗、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名 (小田谷嘉弥、村松和行)

観察記録 — 11月てがたんで観察した生き物リスト—

【鳥類】31種

カモ科:コハクチョウ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、キンクロハジロ、スズガモ/カイツブリ科:カイツブリ、カンムリカイツブリ/
ハト科:キジバト/ウ科:カワウ/サギ科:アオサギ、ダイサギ、コサギ/クイナ科:オオバン/カモメ科:セグロカモメ/タカ科:オオタカ/
カワセミ科:カワセミ/モズ科:モズ(声)/カラス科:ハシボソガラス、ハシブトガラス/ヒヨドリ科:ヒヨドリ/ウグイス科:ウグイス/
メジロ科:メジロ(声)/ムクドリ科:ムクドリ/スズメ科:スズメ/セキレイ科:ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ/
アトリ科:カワラヒワ/ホオジロ科:ホオジロ、アオジ、オオジュリン/外来種や家禽:コブハクチョウ、アヒル、ドバト

【両生類】ウシガエル (乾燥した死体)

【昆虫・クモ】 カメムシの仲間:ヨコヅナサシガメ/ハエの仲間:アブの仲間(種不明)/クモの仲間:アシナガグモの仲間(種不明)

【花】 キク科:ヒメジョオン、セイヨウタンポポ、オオジシバリ、ノボロギク、オニノゲシ/カタバミ科:カタバミ

【実】

マメ科:カワラケツメイ、クズ、ツルマメ、ノダフジ、ヤマハギ/ユリ科:タカサゴユリ/アケビ科:ミツバアケビ/
タデ科:イシミカワ、イヌタデ/シソ科:イヌコウジュ/カヤツリグサ科:コゴメカヤツリ、タマガヤツリ、キンガヤツリ/
イネ科:ジュズダマ、コツブキンエノコロ/ミゾハギ科:ホソバヒメミゾハギ/キク科:アメリカセンダングサ/ヒユ科:
ホナガイヌビユ/アカネ科:ヘクソカズラ/ニレ科:ムクノキ/クスノキ科:クスノキ、シロダモ/ミズキ科:アオキ、ハナミズキ/
ミソハギ科:サルスベリ/ブナ科:シラカシ、コナラ、ウバメガシ、マテバシイ/モクセイ科:トウネズミモチ/スイカズラ科:
ハコネウツギ/ブドウ科:ノブドウ/ウルシ科:ハゼノキ/バラ科:コデマリ、トキワサンザシ/メギ科:ナンテン/カツラ科:
カツラ/ツバキ科:モッコク/カキノキ科:カキノキ/セリ科:アシタバ

11月の観察アルバム



今回のがたんのテーマは「木の実・草の実」でした。果実の分類にそって身近な植物の実の形や種のつき方などを観察しました。鳥類はヨシ原でウグイスやホオジロ科の鳥の声を聞いたり、手賀沼でスズガモやキンクロハジロなどを観察しました。



今月の案内人 古川克彌さん、湯瀬一栄さん



1 カワラケツメイは上向きに実がなる(豆果)



2 庭木として利用され、鳥もよく食べるクロガネモチ(核果)



3 カエデの仲間の実には翼があり、クルクルと飛んで落ちる(翼果)



4 モッコクの実は開くと赤い種子が出てくる(蒴果)



5 種子でよく増える台湾原産のタカサゴユリ(蒴果)



オナガガモ

ミニ手賀沼では他にカルガモやカワセミも観察した



11月てがたんの観察生物とルート



コハクチョウ

水の館の上空を飛んでいたコハクチョウの家族



12 一つの実にカキの種は何個? 答えは8個(液果)



11 乾いても果皮が開かないシロザの実(胞果)



9 秋の代表的な植物のコツブキンエノコ(穎果)



7 備長炭の材料になるウバメガシはドングリをつける(堅果)



6 ニラの一つの実には4つの部屋があり、それぞれに種子がある(蒴果)

今月の鳥 アオジ (スズメ目ホオジロ科)

アオジは我孫子では主に秋から冬にみられる鳥で、大きさはスズメくらい、全体に黄色味をおびた緑色で胸や脇には黒い縦縞があります。てがたんコースでは主に手賀沼周辺のヨシ原や斜面林の藪で見られます。

地面近くで餌を探すことが多いので、なかなか姿が見えないこともあります。

ヨシ原や藪の中から「ジッ」、「チッ」と一声ずつ短い鳴き声がしたら、アオジの声かもしれません。みなさん、ぜひ耳をすまして姿を探してみましょう。



今月の鳥のお話の様子



アオジ (♂)